

科目名		腎臓学特論	
科目責任者	片岡雅晴	(第2内科学 教授)	
担当者	宮本哲	(腎センター 准教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 腎臓は体液の恒常性を保つために重要な臓器である。その機能について理解を深め、各病態における腎臓の関わりを把握できる。腎臓の障害および腎臓での代償などを考え、治療への理解または新しい治療について考察する。また、高血圧症における腎臓の関わりについて理解できる。 行動目標 (SBOs) 1) 糸球体濾過に影響する因子を説明できる。 2) 尿細管における水分調節を説明できる。 3) 尿細管におけるナトリウム、カリウムなどの電解質調節を説明できる。 4) 尿細管における酸塩基平衡に関する機能を説明できる。 5) 尿細管機能検査について説明できる。 6) AVP、ANP・BNP、RAAS系などの内分泌因子の腎臓への作用について説明できる。 7) 自律神経系の腎臓への作用について説明できる。 8) 利尿剤の採用部位、作用機序について説明できる。 9) 糸球体障害をおこす疾患・病態について簡単に説明できる。 10) 腎障害をおこす薬剤について造影剤を中心に簡単に説明できる。			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
腎臓の発生・解剖
腎臓の病理
糸球体濾過および尿細管機能
腎臓に作用するおよび腎臓が産生する内分泌因子
神経系と腎臓
高血圧症における腎臓
腎臓の循環動態(画像および検体検査)
急性腎傷害(AKI)
腎代替療法(血液透析・腹膜透析など)
心腎連関
腎臓と貧血
CKD-MBD